

一級河川阿賀野川水系 湯川 東山ダム及び河道掘削の効果(令和元年10月12日～13日) 速報値

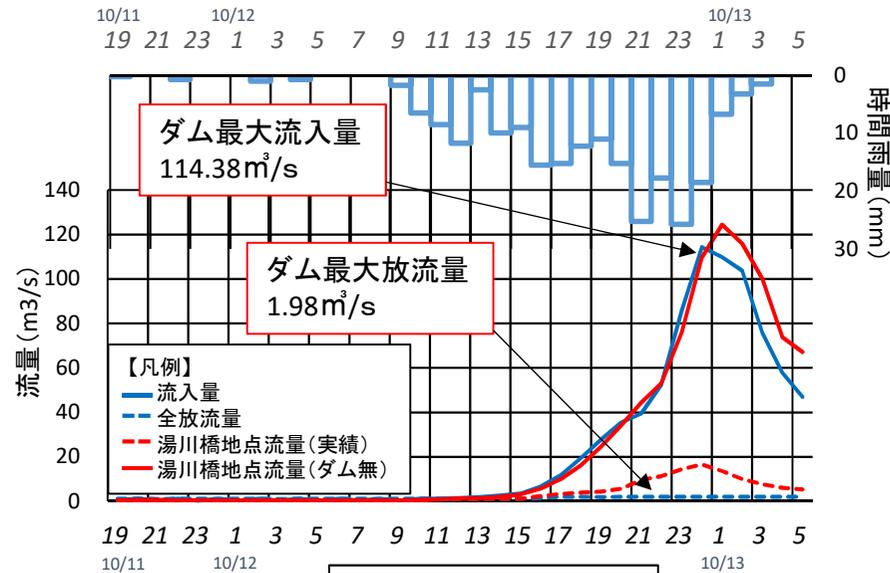
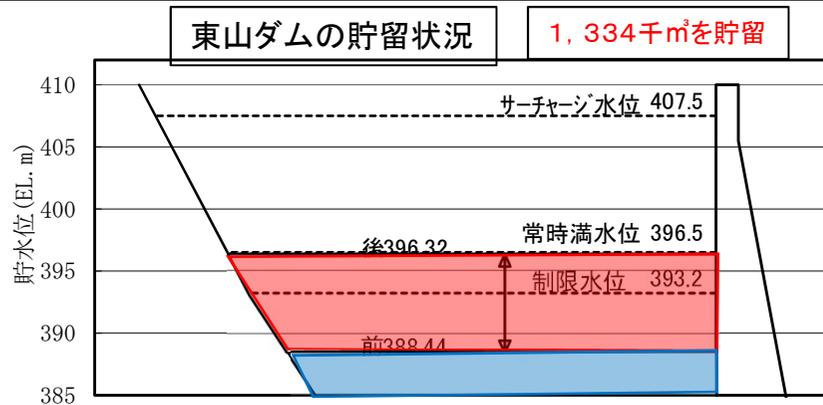


○台風19号の接近に伴い、10月12日から13日にかけて東山ダム流域では220.64mmの雨が降り、最大114.38m³/sの流入量がありました。

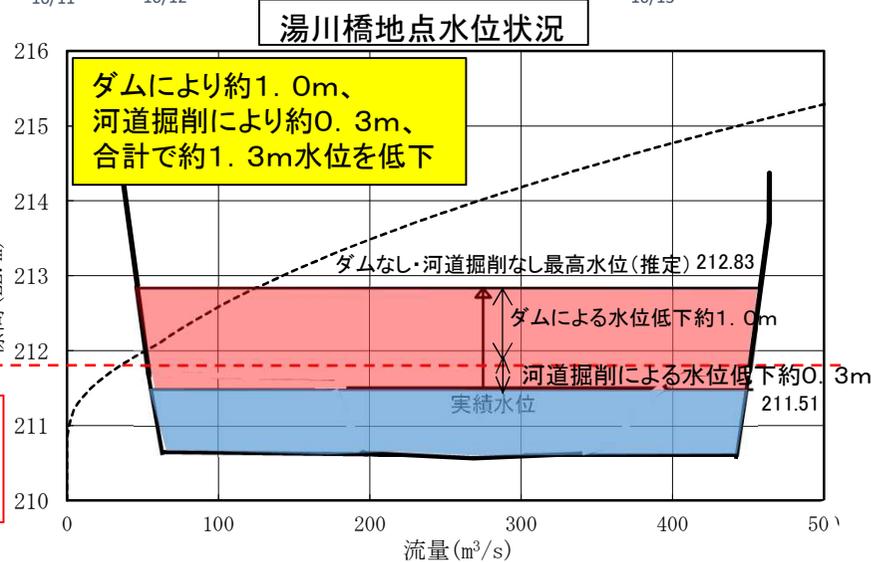
○東山ダムでは1,334千m³、東京ドーム約1杯分の水を貯め、下流への放流量を低減しました。(最大放流量1.98m³/s)。

○ダムの効果に加え、防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策として実施した河道掘削により、水位上昇が抑えられました。

○これらの結果、ダムの下流の湯川橋地点では、河川水位を約1.3m下げる効果があり、水防団待機水位以下にすることができました。



湯川橋地点



水防団待機水位 211.73m